

# 日本固有の伝統技法「型染め」 でブックカバーを染めよう



染ラボく親子やペアでワークショップ  
—開催日—2020年11月28日午後13時—16時頃

SOME Lab ART CRAFT  
TRADITIONAL  
WORK SHOP

2020.11.28 13:00-START



## 型染めとは

型染めは日本の伝統的な染色技法で、型紙を使い布地の上に防染糊を置き、染めるという手法です。歴史は古く鎌倉時代に始まり、室町時代以降は武士の衣類(主に袴)に、江戸時代に入ると庶民の間でも型染めが普及し、「小紋」が浴衣や着物の柄として多く使われました。型染めの工程は非常に多く存在します。図案を考える、型紙を彫る、糊を置く、染める、蒸す、洗う一。その間の温湿度管理、天気や気候の変化など常に自然に耳を傾け順に進め、最後の水洗いの工程でようやく色と形が現れます。型染めは、時間の積み重ねの上に成り立つ技法だと言えます。また、この技法が我が国で発達した理由としては、型染めに使う材料が日本の自然を原料とするものばかりであることが考えられます。糯米、米糠、大豆、柿渋、海藻など、日本の気候風土と稲作文化が型染めを今日まで支え、着物の文化と共に千年以上前から日本人の生活に寄り添い発展してきた歴史があります。型染めは型をつくるという事から、いかに形をシンプルに・簡潔に・必要最低限の色と形でものを言えるのか、という良さがあります。デザイン性に優れ、型紙を繰り返し使いつづける柄にしたり、色違いで染められたりと、大量生産を目的とされた時代背景があるからです。布地の白と染まる色の対比は明確なもので、絵を描く際にはなかなか考えることが出来ない「余白の美(染まらない布地の白)」を如何に生かすかはとても重要です。型染めの特質である連続させる・繰り返すリズム、それによってみえてくる新しい世界が、魅力的な表現を生み出すのです。



## 講師 | 玉井佐知氏 (Sachi Tamai)

2008年、京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程染織専攻修了。染色作家。大学院在学中に日展や日本新工芸展などの団体展での活動を始める。現在は京都を拠点に、個展や公募展をメインに作品制作と発表を行う。伝統技術である型染め技法を用いて「人間」をテーマに、独自の染色芸術表現を追求している。また染色アートと伝統を多くの人に広める活動にも力を注ぐ。

HPアドレス: <http://sachitamai.com>

## 【受賞】

- 2007 東京都知事賞(日本新工芸展)
- 2008 楠部賞(京展)
- 2010 上野の森美術館奨励賞(日本新工芸展)

# 日本固有の伝統的な染色技法 | 型染め | 染色体験

## 染ラボ (SOME Lab) とは

もっと手軽に気軽に染め織りを体験出来る場を。京都は染織の未来の担い手を育てる土壌があります。世界に類をみない程、日本の染織技術は質の高いものです。より多くの方に、染織に触れて頂けるよう、染ラボプロジェクトを発足しました。皆さん一人ひとりが研究員となり、私達と一緒に染織のあっと驚くような面白さ、新しい表現の可能性を体験、共有しましょう。

## 世界に一つだけの

## オリジナルなブックカバーを染めよう

日本固有の伝統的な染色技法「型染め」を用いて、世界にひとつだけのブックカバーを染めよう。デザインから染色、水元(糊落とし)まで浸染による型染め工程の全てを体験できる内容です。本格的な伝統にふれながら、読書の時間がより楽しくなる作品を手づくりしましょう。



2020.11.28.(sat) 13:00 - 16:00頃

日時 | 2020年11月28日(土) 13時-16時頃

会場 | 守口市立図書館 4階 円形ホール

定員 | 各25組(先着順、ソーシャルディスタンス確保のため少人数制)

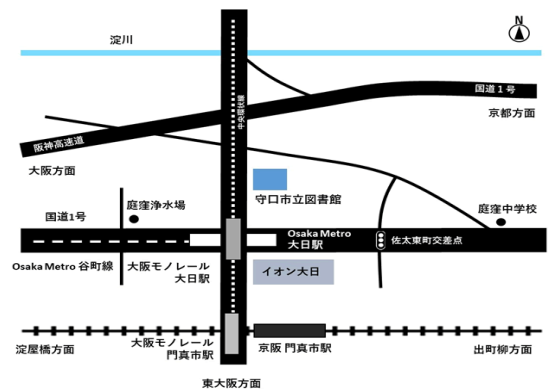
参加費 | 2000円(ブックカバー追加購入可、1枚1000円)

お申込 | TEL06-6115-5475 FAX06-6115-5478

①希望講座・時間 ②参加人数 ③お名前 ④お電話番号をお伝え下さい。(お一人での参加も可能です)

または当館3階受付窓口にて直接お申込み

(頂いた個人情報はこの講座にのみ使用します)



## 守口市立図書館

〒570-0003 守口市大日町2丁目14番10号

開館時間 | 10:00-22:00

休館日 | 火曜日(祝日の場合は翌日)

Osaka Metro谷町線 大日駅より徒歩5分

大阪モノレール 大日駅より徒歩5分

Osaka Metro谷町線3番出口より直進

主催 | 守口市立図書館 生涯学習フロア

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/moriguchi/index.html>